

龍神の滝

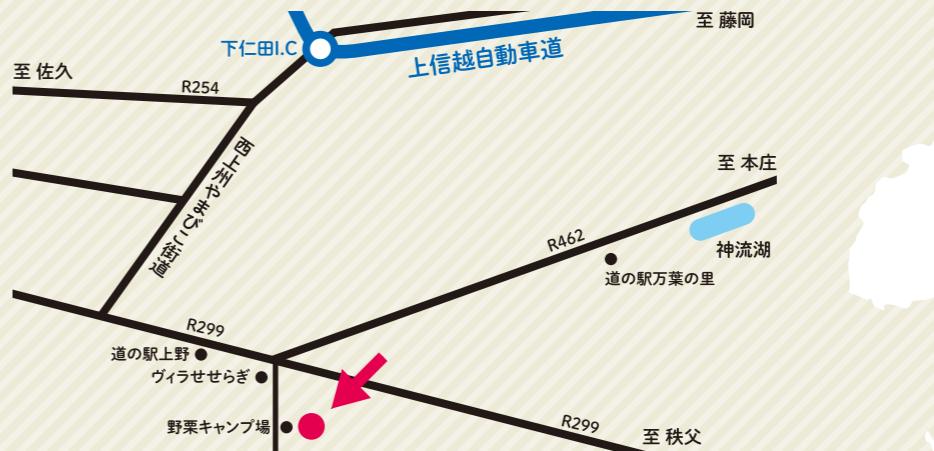
群馬県上野村

神流川支流の野栗沢川にかかる二段の滝で、落差は約20メートル（上段15m、下段5m程度）。昔から大蛇が住んでいたといわれる伝説の滝。岩肌を伝う流れが、蛇が龍となつて昇天するよう見えるところから名付けられたと伝わります。夏は滝つぼで泳いだり、川遊びができます。



アクセス

本庄方面からの場合、国道299号で上野村に入り、ヴィラせせらぎの手前を左折して直進し、突き当たりの野栗キャンプ場に停車して徒歩2~3分。



一特集「西郷どん」

- ◎大政奉還、江戸城無血開城
- ◎戊辰戦争の終結に手腕を発揮
- ◎征韓論をめぐり大久保と対立し下野
- ◎士族が決起した西南戦争
- ◎郷土史跡めぐり 金井東裏遺跡
- ◎シリーズ群馬の美術家
- ◎お客様紹介 热海シーサイドスパ&リゾート 様
- ◎名瀑探訪 龍神の滝

「秋の風」 須藤和之 画
ヤマトビオトープ園のオミナエシ

和'S YAMATO 秋号 (第38号) 2018

建設プロダクト 

株式会社ヤマト 群馬県前橋市古市町118 〒371-0844 TEL.027-290-1800(代) FAX.027-290-1896
支店／東京、埼玉、栃木、横浜、千葉、高崎、東北 営業所／軽井沢、伊勢崎、神奈川県央、茨城、太田、東松山、新潟、長野、渋川、川口、多摩、横須賀、滋賀
附属施設／大和環境技術研究所、大和分析センター、加工センター、朝倉工場、教育センター、コンタクトセンター、サポートセンター
ヤマトホームページ www.yamato-se.co.jp

わづやまと
『和'S YAMATO』の由来

ヤマトの漢字の「和」、Water & Airの頭文字を合わせて「WA」、「S」はスタート。ヤマトが発信するメッセージです。

和'S YAMATO 2018 秋号／2018年9月発行
発行：株式会社ヤマト(広報室) 群馬県前橋市古市町118
TEL.027-290-1891 FAX.027-290-1896

西郷どん

(せごどん)

明治維新に大きな役割を果たした人物として、西郷隆盛は根強い人気を持っている。平成30年のNHK大河ドラマ「西郷(せご)どん」では、三回の結婚、三回の島流し、郷里の盟友・大久保利通との決裂など、西郷隆盛の波乱に満ちた生涯が描かれる。

大政奉還 薩摩藩と幕府の主導権争いが激化

慶応三年（一八六五）五月、十五代将軍徳川慶喜は長州征伐の失敗で失墜した幕府の権威回復と、諸外国と約束した兵庫開港問題の解決を迫っていた。一方、薩摩藩は慶喜の影響力を弱めるために、薩摩・越前・土佐・宇和島藩主による合議制度の「四侯会議」を招集した。兵庫開港問題では、朝廷が開港に否定的であったにもかかわらず、慶喜は開港を強く主張し、朝廷が慶喜に折れる形



徳川慶喜

土佐・安芸・尾張・越前の各藩と一部の公

家による新政府が樹立された。新政府は徳川家の所領没収を決め、幕府の弱体化を狙う。また、江戸にいる薩摩藩士が庄内藩の屋敷に発砲するなど、徳川

回復行為は西郷の策といわれている。庄内藩など幕府軍は報復として江戸の薩摩藩邸を焼き討ちし、薩摩軍と旧幕府軍は武力衝突する（鳥羽伏見の戦い）。

で開港が決まる。慶喜は朝廷への影響力を保ち、四侯会議は有名無実となり、雄藩の慶喜弱体化計画は実現しなかった。同年六月、薩摩藩と土佐藩は「薩土盟約」を結んだ。土佐藩は平和的な政権交代の大政奉還を提起し、武力倒幕を目指して、薩摩藩が土佐藩に同調したのだった。薩摩藩としては、幕府の権威回復に固執する慶喜が政権を朝廷に返上するはずがないと推測し、その時こそ倒幕の名分が立つと考えた上で、盟約だった。しかし、同年十月、慶喜は大政奉還を行い、薩摩藩の思惑は外れてしまう。慶喜は依然として政治力を保つため、薩摩藩は薩土盟約を解消し、武力による倒幕に舵を切ることとなる。

同年十一月、薩摩藩が主導して「王政復古の大号令」が朝廷から発せられ、慶喜の將軍職辞職を勅許し、薩摩・長州・

山内容堂肖像画



江戸城無血開城で戦火を回避

慶応四年（一八六八）一月三日、旧幕府軍は軍勢を江戸から京に進め、伏見から京に進軍しようとした。旧幕府軍は約一万、新政府軍は約三千と大きな戦力差があつたため、旧幕府軍が優勢だった。新政府軍は入京を阻止しようと旧幕府軍に砲撃を開始し、火器が整つていなかった。旧幕府軍を撃退。さらに朝廷が新政府軍に倒幕の勅許を出したことにより、旧幕府軍は賊軍となり戦意を喪失し、淀まで撤退する。旧幕府軍は淀城に入り、態勢を立て直そうとするが、淀藩から入城を拒絶される。淀藩は錦旗を掲げる官軍の新政府軍には逆らえないと考えたのかもしれない。

同年一月六日、旧幕府軍は大坂城まで撤退し、慶喜は再出陣を宣言する。しかし、慶喜は幕府の軍艦で大坂城を脱出し、江戸に戻ってしまう。大坂城に残された旧幕府軍は、大将の逃亡という事態に対応できず、江戸に進軍する新政府軍を押しとどめることはできなかつた。西郷は東征大総督府下参謀に任命され、東海道を下り江戸に向かつた。慶喜は自ら上野寛永寺に入り、謹慎の意を表したが、新政府軍は江戸城総攻撃を進めていた。

西郷隆盛



江戸城伏見櫓



鳥羽伏見戦跡(京都市)

薩摩屋敷襲撃の図



江戸開港西郷南洲勝海舟会見の地に建つ石碑(東京都港区)

西郷隆盛・山岡鉄舟会見の碑とレリーフ(静岡市葵区)
西郷隆盛と山内容堂会見の地(高知県高知市)

と、幕臣の山岡鉄舟が西郷に面会を申し入れてきた。山岡は慶喜から、西郷に恭順の意を伝えるように託されていました。勝海舟も慶喜の寛大な処遇を求める手紙を書き、山岡に託したのだ。山岡は単身で敵陣に乗り込み、身の危険を顧みずに主君の命と江戸の民を戦火から守ろうとして、西郷に直談判を申し入れたのだ。西郷は山岡の忠義心と民を思う心に共鳴し、慶喜の助命と江戸城総攻撃の中止を決断したという。明治元年（一八六八）三月十三日、西郷と勝は高輪の薩摩藩中屋敷で会談、西郷は徳川家の処分案を預かり、正式に総攻撃中止を命令した。



江戸開港西郷南洲勝海舟会見の地に建つ石碑(東京都港区)

戊辰戦争の終結に

征韓論をめぐり、大久保と対立し下野

明治元年（一八六八年）五月、江戸城は混乱なく開城したが、新政府に不満を持つ旧幕兵士らは、上野寛永寺で謹慎している慶喜の身辺警護をすると称して集まっていた。慶喜が水戸に移ったあともこの集団は上野に立てこもり、「彰義隊」と自称し、江戸市中でゲリラ活動を始める。江戸の治安が悪化し、新政府の

明治二年（一八六九）、新政府は戊辰戦争で抵抗勢力を抑え、国内統一を果たした。しかし、役人の墮落や腐敗が横行し、社会不安が助長され、反政府運動が盛り上がりを見せていた。この頃、西郷は鹿児島で藩政を担っていたが、明治四年には大久保利通らの懇願で政府の要職に就く。江戸時代の藩を廃止し、県を置く「廢藩置県」の実現にも西郷は尽力した。

呼ばれた。留守内閣は地租改正、徵兵制、切り捨て及び仇討の禁止など、国内の封建的な制度を改革した。しかし、朝鮮、中国、ロシアなど近隣諸国とは国交、領土問題などを解決できずにいた。特に、鎖国している朝鮮に対して新政府は国交を結ぼうと働きかけたが朝鮮が応じなかつたため、武力で開国を迫ろうとする意見が留守内閣で台頭した（征韓論）。

した。大久保は西郷に対して、今は内政を整備するのが先決であり、交渉が決裂して身に危険が及べば戦争になると、西郷の朝鮮派遣に反対した。その結果、西郷の派遣は実現せずに、征韓論は下火になった。大久保は、西郷が朝鮮との交渉に成功すれば、西郷に政権を奪われる」と危惧し、朝鮮行きを食い止めるために陰謀を図つたとする説がある。西郷は、反対意見の同士を政敵とみな



1



תְּלִימָדָה



王解義傳

士族が決起した西南戦争――日本での最後の内戦

戸での不満分子を鎮圧したことにより、新政府は信頼を取り戻し、西郷の手腕は高く評価された。

東北地方では、会津藩などが新政府に抵抗し、奥羽越の二十五藩が同盟を結んで抗戦した（奥羽越列藩同盟）。新政府軍は抵抗する諸藩を鎮圧し、西郷は庄内藩に入り、戦闘態勢に入つたが、庄内藩は降伏したため、寛大な措置をとるように指示した。庄内藩では西郷の人徳に敬意を表し、熱心に教えを受

上野彰義隊の墓（上野公園内）

大使とし、大久保利通、木戸孝允ら政府首脳や留学生など約百名からなる使節団が横浜港を旅立ち、米、英、歐州を約一年十ヶ月かけて各国を歴訪した（岩倉使節団）。主目的の条約改正は実現しなかつたが、ヨーロッパの先進文明を攝取した。日本に残留する政府要人は西郷、板垣退助、江藤新平らで、「留守内閣」と



西南戦争籠城将校家族避難跡（熊本城）



震災で被災して再建中の熊本城



私学校跡の碑（鹿児島市）



薩摩軍出陣の錦絵

によって鎮圧されたものの、不満はくすりつていた。武士の勢力が最も強い鹿児島では、西郷の人望により不満が抑えられ、また私学校で学んだ者は県の役人や警官に採用されたため、士族の暴発には至らなかつた。

しかし、政府は鹿児島県や私学校の動向に警戒を強めていた。明治十年（一八七七）、鹿児島県に大量の武器弾薬が貯蔵されていることを問題視した政府は、県には通告せずに移送する。私学校の薩摩士族はこの武器搬出に強く反発し、加えて西郷の暗殺計画が流布されたりともあり、挙兵の勢いは増すばかり

熊本城を攻略できない薩摩軍は、全軍での熊本城攻略を中止し、南下してくる政府軍を迎撃つ作戦に変更した。政府軍の南下を押しとどめているうちに、熊本城に籠る政府軍の兵糧が尽き、降伏させる作戦だった。

田原坂の争奪戦 西南戦争最大の激戦地

たばるざか

政府軍は、熊本城に籠城する鎮台兵を救うため、福岡方面から熊本城を目指し、大砲が通れる田原坂を超えるルートを進軍しようとした。その行く手が阻もうとする薩摩軍との激しい戦闘が繰り広げられた。明治十年（一八七七）三月四日、政府軍は銃撃をしながら坂を上り、薩摩軍は坂上から進んでくる政府軍を狙い撃ちした。一日に十万発以上の銃弾が飛び交う凄絶な戦闘がはじまった。

士族中心の薩摩軍は平民から徵集され、田原坂の戦いは、士族の死傷者が四千人を超える激しい戦いは他に無かつたこと、薩摩軍が田原坂を制し北上したら、各地の政府に不満を持つ者が立ち上がり、内戦はさらに拡大し禍は計り知れなかつたと伝えている。



熊本市田原坂西南戦争資料館

平成27年11月に新装オープン。近代日本の夜明けを学び伝える歴史学習施設「」を基本コンセプトとしている。

同年三月二十日、政府軍は雨と濃霧で見通しが悪いことを利用し、警視抜刀隊が一気に攻撃を仕掛け、田原坂頂上に追い込まれた薩摩軍の背後に回り挟み撃ちした。壮絶な火力の撃ち合いのなか、劣勢の薩摩軍は総崩れとなり敗退する。田原坂を制圧した政府軍は、熊本城を救うための援軍を派遣するルートを確保した。政府軍には本州からの増援が次々と参戦して九州各地の拠点を制圧していく。薩摩軍の士気は高く剣術の腕は優れているが、それでは補うべくもなく、兵力、武器の性能、物資などは政府軍が大きく上回っていた。薩摩軍は決死の抵抗虚しく追い詰められ、延岡（宮崎県）の和田峠で西郷自らが陣頭指揮に立ち最後の決戦に挑むが、あえなく惨敗する。

九州全域を巻き込んだ西南戦争



西南の役戦没者慰靈の碑

戦死者の官軍6923名、薩軍7186名、殉難者29名の慰靈碑。慰靈碑の背後には戦没者名が刻まれています。

田原坂の一の坂



田原坂周辺は整備され、公園や資料館がある。

美少年の像



「雨はふるふる人馬は濡れる こすに
こされぬ田原坂」と、激戦の様子が後世に語り継がれ、その象徴としての像が建てられている。

田原坂崇烈碑

死傷者が四千人を超える激しい戦いは他に無かつたこと、薩摩軍が田原坂を制し北上したら、各地の政府に不満を持つ者が立ち上がり、内戦はさらに拡大し禍は計り知れなかつたと伝えている。

田原坂公園



激戦の跡が生々しい弾痕の残る家（復元）

西南戦争で使用された大砲の模型



両軍の戦力差は開戦当初こそ兵員、武器とともに大きな差は無かつたが、戦いが長期化すると兵力、物資の補充・輸送力と情報伝達力に勝る政府軍が優勢になつた。

戦地に派遣される警視隊



7

文政10年(1827)	1才	鹿児島で誕生
天保10年(1839)	13才	ケンカの仲裁で怪我を負って刀を握れなくなり、勉学に励む 蛮社の獄で高野長英や渡辺華山などが捕えられる
天保11年(1840)	14才	アヘン戦争始まる(2年後に終わる)
天保12年(1841)	15才	天保の改革(水野忠邦)
弘化1年(1844)	18才	郡方書役助(こおりかたかきやくたすけ)に任命される
嘉永2年(1850)	24才	農政に関する建白書を提出 お由羅騒動勃発・赤山勒負の切腹で号泣する
嘉永3年(1851)	25才	ジョン万次郎が帰国
嘉永5年(1853)	27才	家督を継ぐ ペリー来航(翌1854年に日米和親条約)
安政1年(1854)	28才	島津斉彬のお庭方となり江戸へ・政界工作に携わる 藤田東湖と出会う
安政2年(1855)	29才	橋本左内と出会う
安政4年(1857)	31才	篤姫と徳川家定が婚姻
安政5年(1858)	32才	日米修好通商条約に調印(松平忠固が推し進めた) 島津斉彬が急死 安政の大獄で追われ、月照と共に入水・奄美大島で蟄居
安政6年(1859)	33才	吉田松陰に死刑
万延1年(1860)	34才	桜田門外の変 和宮親子内親王が徳川家茂へ降嫁
文久2年(1862)	36才	奄美大島から帰還 寺田屋事件で薩摩の攘夷派が島津久光に肅清される 島津久光の怒り描い、今度は徳島島・沖永良部島へ 生麦事件
文久3年(1863)	37才	新撰組の前進・壬生浪士が結成される 長州藩が下関戦争(英・仏・蘭・米) 薩摩藩が薩英戦争 8月18日の政変で長州藩を京都から追放
元治1年(1864)	38才	再び赦されて、京都における薩摩藩責任者となる 池田屋事件(長州藩の攘夷派が新撰組に討たれる) 禁門の変で薩摩・会津が長州を京都から追放 佐久間象山が暗殺される
慶応2年(1866)	40才	第一次長州征伐で長州はソク白旗 西郷隆盛と木戸孝允、薩長同盟を結ぶ アーネスト・サトウが『英國策論』を執筆
慶応3年(1867)	41才	明治天皇が即位 徳川昭武がパリ万博へ 高杉晋作が結核で死亡 徳川慶喜が大政奉還に応じる 坂本龍馬と中岡慎太郎が暗殺される(近江屋事件) 庄内藩が江戸藩邸を焼き討ち
明治1年(1868)	42才	鳥羽伏見の戦いをもって戊辰戦争が始まる 江戸城無血開城を主導 会津戦争・北越戦争・上野戦争・箱館戦争
明治2年(1869)	43才	版籍奉還
明治4年(1871)	45才	廃藩置県 岩倉使節団が欧米へ・西郷らが留守を預かる
明治6年(1873)	47才	征韓論を機に下野し、鹿児島へ
明治7年(1874)	48才	鹿児島に私学校を設立 佐賀の乱で江藤新平が死亡
明治8年(1875)	49才	秩禄処分で士族の家禄等が剥奪される
明治9年(1876)	50才	廃刀令により士族は帯刀の特権も奪われる 神風連の乱・秋月の乱・萩の乱
明治10年(1877)	51才	西南戦争



鹿児島市の西郷隆盛銅像。わが国初の陸軍大将の制服姿。城山を背景に桜島を見据えている。昭和十二年(一九三七)五月完成。高さ約ハメートル。

西郷隆盛と関連事項の略年表



西南の役の碑
碑には「官軍薩軍恩讐を超えて」と
刻まれ、両軍の戦没者を二つにして弔
う初めて建立された碑。2017年
9月設置へ鹿児島市・南洲公園



西郷洞窟
9月19日から5日間にわたって西郷
が潜伏した洞窟。奥行4m間口3m。



西郷隆盛ゆかりの地をめぐる 城山コース



故郷で生涯を閉じた薩摩の英雄 西南戦争の終焉

和田岬で敗北した西郷は、軍を解隊して政府軍の包囲を突破し、明治十年(一八七七)九月初旬に鹿児島に戻り城山に入つた。政府軍は九月二十四日に総攻撃をするので降伏するようになり、最後通告を突きつける。西郷たちは備蓄していた食料を取り出して最後の宴を開き、語り、笑い、武士の誇りを讚えあつたといふ。

降伏勧告にもかかわらず、城山の洞窟に立てこもる四十名余りの薩摩軍に対し、政府軍は総攻撃を開始、西郷も被弾する。西郷は別府晋介に「もうここいらでよからうかい」と声をかけ、別府は涙ながらに西郷の首を刎ね、薩摩の英雄は生涯を閉じた。「命もいらず、名もいらず」を体現し、「敬天愛人」思想を貫いた最後の武士を偲んで、終焉の地には今も多くの人々が訪れている。

櫻島と南洲墓地

西南戦争の戦没者を埋葬。2000人を超える将士が眠っている。

西郷隆盛終焉之地

明治三十二年(一八九九)に建立された。勝海舟は「ぬれぎぬを干そうともせず子供らがなすがままに果てし君かな」と、西南戦争を仕掛けた首謀者は西郷ではないことをほのめかす句を詠んだ。



重要遺物が出土した金井東裏遺跡4区と9区(上空から 上が西)



祭祀遺構からは、土器とともに白玉やガラス玉など小さな遺物もたくさん出土しました。(南から)



1号古墳。西斜面の葺石は、西側からの火碎流で削られてしまったようです。(西から)



赤玉は、ベンガラと粘土を団子状にしたもので、大きさは直径7cm、重さは400g程度です。(北西から)



剣菱形杏葉は、長さ16cm程度で、鉄の地板に銅板を被せ金メッキを施した、馬の尻部を飾るもので、(南から)

参考資料…
自然災害と考古学(公財)群馬県埋蔵文化財調査事業団
事業団・古墳人だより特集号(公財)群馬県埋蔵文化財調査事業団

であるベンガラを固めた「赤玉」や剣菱形杏葉とよばれる装飾用の馬具も発見されました。

また、甲を着た古墳人の頭部の下からは、横矧板鉢留衝角付冑と呼ばれる冑が発見されました。二号甲の内側からは鹿角製小札が発見されました。鹿角製の小札の出土は国内初で、国外では韓国の夢村土城で骨角製の類品が一例確認されています。

るだけなのです。その他、甲を着た古墳人が発見された溝沿いの道では、往来する人の足跡が、赤玉が出土した近くでは平地建物が、古墳の近くの堅穴建物からは朱彩された多くの「編み物石」が次々と確認されました。さらに、屋敷地内では、短冊形畠の畠と方形畠の畠の一種類の畠が確認されました。二つが類例の少ない貴重な発掘成果であり、それぞれが呼応するようになれば、それが呼応するように発見されることにより、相乘的にその価値を高めていったといえるでしょう。

その後、発掘調査は金井東裏遺跡の五百メートル程南に位置する金井下新田遺跡に引き継がれました。同遺跡においても、榛名山の噴火によって埋もれた貴重な遺構が確認されました。金井東裏遺跡と金井下新田遺跡は、ともに榛名山東麓にある古墳時代の遺跡で金井遺跡群と呼べる存在です。周辺では、金井丸山古墳、中筋遺跡、

黒井峯遺跡など、やはり榛名山の火山灰や火碎流堆積物に覆われた古墳時代の遺跡が発掘調査されています。榛名山東麓一帯における、古墳時代の様相が明らかになるに伴い、当地域が古墳時代の首長の拠点の一つであったことも判明しつつあります。

現在、(公財)群馬県埋蔵文化財調査事業団では発掘情報館(渋川市北橘町下箱田七八四の二電話〇二七九(五二二五三三)で金井東裏遺跡から出土した「甲を着た古墳人」をはじめ、装着していた武器・武具・祭祀で使用された土器や祭祀具などを一同に展示した「奇跡の発掘 金井東裏遺跡のすべて」を九月三〇日まで開催(土曜祝日休館)しています。

金井東裏遺跡で甲を装着した古墳時代の人骨「甲を着た古墳人」が発見されたのは、平成二十四年十一月十九日のことでした。五百年前の人骨が甲を装着したままほぼ完全な姿で発見されたのは、国内初の事例です。直後の記者発表以来、世纪の大発見として同遺跡は全国の注目を集めることになりました。

金井東裏遺跡における当時の発掘調査は、マスメディアによって連日大きく報道され、同年十二月二日に行われた現地説明会では、およそ一千六百名の見学者が来ました。遺跡の周囲で渋滞が起こり渋川駅から発掘現場まで車の列が繋がったといわれています。その後も調査は継続的に行われています。

続され、乳児の頭骨、首飾りを付けた成年女性の人骨、幼児の頭骨が相次いで発見されました。いずれも6世紀初頭に榛名山の噴火で発生した火碎流によって埋もれた人達だったのです。新たな発見は、とどまることがありませんでした。甲を着た古墳人が発見された調査区の北西隅では、土器、玉類、青銅鏡、石製模造品、鉄製品など、出土遺物の質、量ともに豊富な祭祀遺構が確認されました。また、北の調査区では古墳は主体部を二つ持つており、第一主体部からは剣と大刀が、第二主体部からはガラス製の勾玉と小玉が出土しました。古墳と同じ調査区の西方では、赤色顔料

金井東裏遺跡

金井東裏遺跡は、榛名山の北東麓に位置する遺跡で渋川市に所在しています。国道353号金井バイパス(上信自動車道)の建設に伴い、平成二十九年九月から、公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団が発掘調査を行いました。近世・古墳時代・弥生時代・縄文時代にわたる発掘調査でした

が、榛名山の火山灰や火碎流堆積物に覆われた古墳時代の調査では、「甲を着た古墳人」をはじめ驚くべき発見がありました。

甲を着た古墳人

公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団
主任調査研究員 資料統括 都木 直人



金井東裏遺跡は、吾妻側の右岸、榛名山北東麓に形成された扇状地の端部にあります。(北東から)



鹿角製小札は、長さ6.6cm、幅3.0cm、厚さ0.3cm程度で、4枚、13枚、15枚、17枚の4列構成となっています。



「甲を着た古墳人」は、うつ伏せでした。後頭部と左上腕骨が見えています。(南から)

金原寿浩展 「海の声」

2018年9月2日(日)～10月7日(日)

開館時間 10時～17時
休館日 9月8日・9日・15日・16日・17日(月)
22(土)・23(日)・24(月)・29(土)・30(日)

ギャラリートーク 9月2日(日)午後2時

シリーズ 群馬の美術家②

金原寿浩



絵図から大壁画へ、変転するアーティスト

元群馬県立近代美術館学芸員 染谷滋

桐生の街並みを描く

金原寿浩を知ったのは、桐生有鄰館での「一〇一〇年三月の個展『桐生本町通絵図展』」だった。

『桐生本町通絵図』は、桐生の中心街を南北に貫く約3キロの本町通りの街並みを、東西両側それぞれ長さ30メートル、幅20センチの紙に、およそ百分の一の縮尺で描いた作品で、有鄰館のれんが蔵の長い壁面に東西が向かい合うように展示されていた。併せて60枚に及ぶこの長大な絵図は、金原寿浩が四年の歳月をかけて完成させたもので、スケールを正確に表すために一軒一軒の間取りを測つてから絵にしたという丁寧な仕事だ。水彩色鉛筆を使った繊細な色彩も魅力的で、季節の変化や朝晩の変化も取り入れられ、見ていて飽きない。作品としての面白さだけでなく、街並みの記録としても、年月が経つほど貴重なものになることが想像できた。

桐生に定住するまで

金原寿浩は東京都豊島区に生まれた。美術学校への受験勉強では油絵を目指したが、入学した創形美術学校では版画を学んだ。だが、卒業してからは版画制作からは遠ざかつた。間接技法のまどろっこしさが嫌だったそうだ。

卒業後、安くて広いアトリエを求め、長野県下伊那郡の大鹿村に移り住む。南アルプスを臨む自然豊かな土地ではあるが、人口が千人足らずの過疎地で、働く場所がなかった。都会に出でしばらく稼いで、村に戻つて制作する生活を五、六年続けた。その後、岡山県出身の造形作家・平田歩との結婚を機に、ひとまず埼玉県所沢市の団地に転居。二人で広い貸家を探し回るが、アーティストと分かること断られる事が続いた。そんなときに、友人の住む桐生で使われていない「こぎり屋根の家」を目にする。家主は貸すことを承知してくれ、友人に

2人を加えた4人でそこを借りた。一九九五年一月

「東七丁目工房」のスタートである。

桐生の人は物作りへの理解がある、と金原は云う。地理的には奥まっていて少し不便だが、土地柄から余所者への敷居も低く、住み易いと。

二〇〇七年、東久方町の同じような「こぎり屋根のアトリエ」に移つた。かつて彫刻家の掛井五郎が使用していた由緒あるアトリエで、仲間を一人加えたら5人で借りることになった。5人の姓の頭文字を繋げて「工房・金田丸岡平」と名付ける。今でもそこが、金原のアトリエである。

立体から平面へ

「東七丁目工房」の頃の金原の作品は、立体造形が主だった。布や金属などを使い、広いアトリエで自由に創造の羽を広げた。有鄰館や桐生川上流の梅田地区の森林などを会場に行われたアート・フェスティバル「ドキュメント376」にも積極的に参加つた。

「ひかるかたち」のシリーズでは、アルミや銅を素材に生命を思わせる形態が作られ、細かな穴から夜空の星のよう光が漏れた。

作風が大きく変化するきっかけは、二〇〇二年に出かけた東南アジアへの旅だった。バックパックで現地の風景を描いた。それまで自分の心の内側にあったイメージで制作していたものが、外へと関心が移つたのだろう。この旅行で『桐生本町通絵図』の構想が生まれた。

3・11と「海の声」

再び作風が変化したのは、二〇一二年三月の東日本大震災だった。そのとき金原は取材で沖縄に居た。テレビ画面やインターネットの動画で繰り返し流された映像は、福島第一原子力発電所の事故と相俟つて、日本だけでなく世界中に衝撃を与えた。沖縄の美しい海を眺めながら、金原は同じ海が持つ脅威を感じ取っていたのだろう。

震災がテーマとなつた「黒くぬれ!」シリーズが始まる。墨一色のそれまでの金原にはなかつた社会風刺的な作品群である。この、やや直情的な作風が一段落した後で、これまでにない大作が生まれる。「海の声」シリーズのスタートだった。

昨年暮れ、桐生のギャラリー・オマドーンで開催された個展では、高さ2メートル70センチの壁一杯に展示了された大作がお目見えする。90枚の幅のクラフト紙にチャコール・ペンシルで描かれた作品群は、ほとんど色彩を失つて暗い。描かれたモチーフは、福島県富岡町の今でも立ち入りが制限されている地域に咲く満開の桜並木、岡山県倉敷市の謎の巨岩が転がる岩倉神社など、金原が日本各地で見てきた景色である。だが、それらはどれも太古の時代の遺跡のように、海に沈んだ海底の遺物のようにも見える。よく見るとオスプレイの残骸と覚しきものもある。そうだとすればこれは、遠い未来の人類が死に絶えた世界なのかもしれない。

技法もモチーフも、その都度変えてきた金原寿浩は、目に映る自然や社会の姿に、内的イメージを加えた新たな世界を築き始めた。その自在な表現の行き着く先は、まだだれも知らない。



略歴 金原寿浩 KANEHARA TOSHIHIRO	
1962年	東京都豊島区に生まれる
1986年	創形美術学校版画科研究課程修了
1991年	埼玉県所沢市へ転居
1995年	桐生市で友人らと「東七丁目工房」を開設、これを機に桐生に転居
1998年	「ドキュメント376」に参加、1998年まで毎年続ける「ひかるかたち」(みどり市・ギャラリー男蔵)
2001年	アトリエを桐生市東久方町へ移転、「工房・金田丸岡平」開設
2002年	東南アジア各地を1年かけて旅行
2003年	個展「アジア、旅のスケッチ」(桐生市・シマ画廊)
2006年	夏、《桐生本町通絵図》に着手
2007年	個展「ひかるかたち」(みどり市・ギャラリー男蔵)
2008年	個展「桐生本町通絵図」(桐生市・有鄰館)
2010年	個展「桐生本町通絵図・完結版」(桐生市・有鄰館)
2011年	個展「黒くぬれ!」(桐生市・ギャラリーR66)
2012年	個展「沖縄の風」(桐生市・有鄰館)
2015年	個展「海の声」(那覇市・ギャラリーアートス)
2016年	個展「桐生本町通絵図」(桐生市・有鄰館)、《桐生鳥瞰図》発表
2017年	個展「海の声」(桐生市・ギャラリー・オマドーン)

熱海シーサイド SPA&RESORT 様

静岡県熱海市

大浴場、露天風呂をリニューアル



熱海駅から徒歩10分、熱海サンビーチ前に建つリゾートホテル「熱海シーサイドSPA&RESORT」は、今年4月に大浴場を大幅にリニューアルしました。露天風呂は源泉かけ流しの泉質が人気です。相模湾の大平原を眼前に望むことができ、夜はライトアップされたサンビーチが眼前に広がり、開放的な空間で身も心も癒されます。また、岩盤浴や女性専用一人客室エリアを新設し、好評を博しています。

建設プロダクトのヤマトは、当プロジェクトのデザイン・ビルトを担当しました。



客室やレストランもすべて自社のスタッフで対応するマルチオペレーションを実施している。

支配人 原努様
お客様の声

大浴場は熱海温泉という良質な天然資源を持つものの、施設の老朽化が進み、加えて浴場から海が見えづらいというお客様のご指摘を多くいただいていました。2階の露天風呂から眺めを確保すると、風呂が海側から見えてしまいます。開放感との両立を図るため、眺望を損なわないように自隠しの仕切りや植物を配置する工夫をしていただきました。お陰様で、お客様からお好評をいただいており、リコールをしてよかつたと実感しています。

熱海サンビーチ周辺の観光スポット

初島
離島リゾート地
初島にかけよう！

初島

離島気分を手軽に味わえる



初島では、都会の喧騒を離れたゆったりとした時間が流れています。色とりどりの亜熱帯植物を眺めながらハンモックに揺られて昼寝をしたり、海泉浴をしながら海を眺めたりと、島のリゾートを手軽に楽しむことができます。

熱海シーサイドSPA&RESORTの宿泊と

初島への乗船券がセットになったお得な割引プランがあります。



寛一お宮の像

明治30年から35年まで、読売新聞に連載された尾崎紅葉の「金色夜叉」により熱海は躍脚光を浴びました。像は間貫二が、宮を足蹴にして立ち去るシーンです。

熱海の花火



熱海上花火大会は、1952年（昭和27年）にはじまった歴史ある花火大会。夏だけではなく年間を通して10回以上も開催されている熱海名物です。

アジアンガーデン 「R-Asia」

何百種類もの亜熱帯の植物が生い茂り、ハンモックで休んだり、食事を楽しめます。



初島 热海港から初島までフェリーで25分

熱海側から眺める初島